

米穀部

米麦用紙袋の取扱いについて!!

7月10日現在、県内の水稲は順調に生育していますが、今後の天候次第ではいもち病の発生が心配されます。また、水の管理、カラムシ対策等にも十分に注意をして下さい。さて、お盆が過ぎると米麦用紙袋の配送が開始されますが今回はその取扱いについての注意点をお知らせします。

●保管のポイント

【基本編】紙袋は乾燥させすぎたり、水に濡れたりすると破袋の原因になります。

○直射日光が当たる場所、また、高温、多湿の場所での保管は避けて下さい。

○水でぬれている場所や雨水のかかる場所には一時的でも置かなで下さい。

○害虫・ねずみ等には注意して下さい。

【害虫編】米等の貯蔵食品を食害する虫は米麦用紙袋も食害する恐れがあります。

●注意！米麦用紙袋は防虫加工等一切ほつておられません。

①メイガ科
貯蔵食品を食害する主な虫
米ヌカや小麦粉などの穀粉、精米から菓子類、乾麺等広く発生します。(加害は幼虫のみ)



メイガの幼虫



メイガによる紙袋の虫食い



成虫

②コクゾウムシ

成虫は穀粒、穀粉どちらも加害しますが、幼虫は穀粒のみを加害します。

●その他、米麦用紙袋を食害する主な虫

①シロアリ
建築物の木材が最も被害を受け、特に湿度の高い場所の木部が食害されやすいです。この他、立木、紙、プラスチック、金属も食害します。

害虫が発生しないよう日頃から倉庫内の清掃を心がけましょう。

JAふれあい食材 おすすめレシピ

8月にお届けする材料を使用したレシピです

豚肉となすのピリ辛ダレ



●材料は2人分が基準になっております。
●盛付例はイメージです。
※材料の野菜がない場合は家庭にある好きな野菜をお使い下さい。

材料

- ・麓山高原豚バラスライス… 150g
- ・なす… 2本
- ・酢… 大さじ1/2
- ・白ネギ… 5cm
- ・青じそ… 3枚
- ・みょうが… 1個

- ・しょうゆ… 大さじ1
- ・おろし生姜… 1/2かけ分
- ・豆板醤… 小さじ1/2
- ・砂糖… 小さじ1
- ・酒… 小さじ1
- ・ごま油… 大さじ1/2

作り方

- 鍋にたっぷりの熱湯を沸かし、豚肉を1枚ずつ入れて色が変わるまで中火で2～3分茹でる。ザルにあげて水気を切り、粗熱を取る。
- なすはヘタを切落とし、竹串で4～5か所刺しておく。1本ずつふんわりとラップで包み、電子レンジで3～4分加熱する。柔らかくなれば立て～6等分に裂いて全体に酢を塗り、粗熱を取る。
- 白ネギは白髪ねぎにし、冷水に2～3分さらす。青じそはせん切り、みょうがは縦半分に切って斜め薄切りにする。Aを混ぜ合わせておく。
- 器の周囲になすを半分に折り曲げて並べる。真ん中に豚肉を盛り、白髪ねぎ、みょうが、青じその順にのせ、Aをかける。

今月の主な行事予定

8月5日	畜産部	麓山高原豚生産振興協議会審議会
8月6日	消費地販売部	川崎フロンターレ「福島フェア」
8月7日	管理部	福島ユナイテッドFC ホームゲーム
8月9～14日	園芸部	JA 農産物直売所愛情館「花市」
8月25日	畜産部	JA グループ福島肉牛振興協議会 役員会
8月31日	畜産部	畜産女性研修会

ラジオ福島 「農家の皆さんへ」

午前5時15分～25分 放・送・予・定

- 8月1日 JAライフレイト福島 生活用品事業の取組みについて
- 8月2日 園芸部 営農相談室(種苗情報(秋まき種子))
- 8月8日 米穀部 ふくしまの米 販売情勢
- 8月9日 畜産部 営農相談室 夏場の肉牛飼養管理
- 8月15日 管理部 全農広報活動について
- 8月22日 生産資材部 農作業安全運動の取組みについて
- 8月29日 園芸部 直販事業について

東北地方の長期予報

<予想される向こう1か月の天候>
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。
東北日本海側では、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。東北太平洋側では、天気は数日の周期で変わりますが、平年に比べ晴れの日が少ないでしょう。
向こう1か月の平均気温は、東北日本海側で平年並の確率50%、東北太平洋側で平年並または低い確率ともに40%です。降水量は、東北太平洋側で平年並または多い確率ともに40%です。日照時間は、東北日本海側で平年並または少ない確率ともに40%、東北太平洋側で少ない確率50%です。
週別の気温は、1週目は、東北日本海側で平年並または低い確率ともに40%、東北太平洋側で低い確率60%です。2週目は、平年並の確率50%です。

<気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>

7月23日～8月22日

【気温】	日本海側	30	50	20
	太平洋側	40	40	20
【降水量】	日本海側	30	40	30
	太平洋側	20	40	40
【日照時間】	日本海側	40	40	20
	太平洋側	50	30	20

<気温経過の各階級の確率(%)>

7月23日～7月29日

	日本海側	40	40	20
	太平洋側	60	30	10

7月30日～8月5日

	日本海側	20	50	30
	太平洋側	30	50	20

8月6日～8月19日

	日本海側	30	40	30
--	------	----	----	----

凡例: 低い(少ない) 平年並 高い(多い)
(仙台管区气象台 発表)

編集後記

福島の夏を象徴する果物「桃」が最盛期です。主力は「あかつき」ですが、早生種の「はつひめ」「晩星」に始まり、「あかつき」を経て、「まどか」「川中島白桃」「黄金桃」、晩生種の「ゆうぞら」「さくら白桃」と、9月中旬まで桃を楽しめます。こういった基本知識も、恥ずかしながら広報担当になり初めて知った次第です。
この時期は「福島の桃を食べたい!」というお客様からたくさんのお電話を頂きます。新しく得たばかりの知識をフル活用しながら、「福島には色々な桃があって、それぞれに味の特徴があります!」と、ぜひPRしたいと思っています。

畜産部

乳牛の暑熱対策

暑熱対策では、乳牛にとっても快適な環境が求められます。乳牛が高い生産性をあげるためには、ストレスを与えないことが重要です。次のポイントを確認し、早めの対策、十分な環境の確保により今年の夏を乗り切りましょう!!

●飼養環境の改善・暑熱原因の除去・軽減のポイント

- ①牛舎の窓や戸を開放し、舎内換気を良くする。
- ②スタレなどを利用して、舎内に入る直射日光を遮る。
- ③牛舎に断熱資材を施したり、屋根に散水や石灰を塗布するなど牛舎からの輻射熱を抑える。
- ④扇風機、ダクトファンを利用して牛体・舎内の温度、湿度を下げる。 ※牛が汗をかき「首から肩の部分」へ風をあてるのが効果的です!
- ⑤舎内通路は常に乾燥させ、牛床には清潔な敷料を豊富に敷き、牛の安楽性を保つ。

暑熱対策に取り組みましょう

●飲水と飼料管理のポイント
牛乳の約87%は水分です。汗や排泄物としても水分は体外へ排出されることを考慮すると、十分な水分補給がないと乳量の減少につながり、また、エサの食込みや繁殖などにも大きな影響を及ぼします。

- ①たっぷり給水・泌乳量が多いほど大量の水が必要。
- ②水槽をこまめに掃除して清潔にして水量も充分チェックして下さい。